

### 【2021年秋季大会についてのお知らせ】

新型コロナウイルス感染の「第5波」の中、9月11日(土)に東京都立大学で開催予定の秋季大会の開催形態についても、執行部・理事会・主催校の間で協議を重ねてまいりました。その結果、主催校のご尽力もあり、大会は原則としてハイフレックス式(現地開催+ZOOM同時配信)で開催することになりました。会員の皆様には、現地に直接来場していただくことも、オンラインでご参加いただくこともできます。もちろん、感染状況のさらなる深刻化など、やむをえない事情が生じた場合は、全面オンライン開催に切り替えることもありえます。その場合には、皆様に告知いたしますので、ご協力いただければ幸いです。

オンラインでの大会への参加方法、およびZoom使用の際のマニュアルや注意事項などについては、大会の一週間前までにあらためてご連絡いたします。また、当日のアクセスのためのZoomミーティングのURL等は、会員外への漏洩を防ぐため、大会の数日前にメール(メール未登録者には郵便)でお伝えします。連絡を確実にを行うため、メールアドレスを事務局に伝えていない方、または変更のある方は、事務局([secretariat@sfpj-web.net](mailto:secretariat@sfpj-web.net))までご連絡下さい。どうぞよろしくごお願い申し上げます。

### 【プログラム (HPにも掲載します)】

- 【日時】 2021年9月11日(土)  
【場所】 東京都立大学 南大沢キャンパス1号館  
【開催形態】 ハイフレックス式(現地開催+オンラインにて同時配信)

#### 【タイムスケジュール】

《一般研究発表》 9時50分-13時

\*発表時間帯

- ① 9時50分 - 10時30分
- ② 10時40分 - 11時20分
- ③ 11時30分 - 12時10分
- ④ 12時20分-13時

#### 第一部会 (司会: ①②村松 正隆/③④平井 靖史)

- ① 竹中 利彦 マルブランシュによるスピノザ主義拒否の背景としての神の意志論
- ② 長坂 祥悟 メーヌ・ド・ビランの「同一性」概念をつうじた「努力」概念の解釈
- ③ 野瀬 彰子 ベルクソンにおける実践と思考
- ④ 宇都 広樹 ジョルジュ・カンギレムはルイ・ブヌールの批判にどのように答えたか

#### 第二部会 (司会: ①②米虫 正巳/③④長坂 真澄)

- ① 宇佐美 達朗 シモン哲学における技術性の概念と人間主義の顛倒
- ② 小田 一彦 『全体性と無限』におけるレヴィナス哲学の態勢

- ③ 森脇 透青 夢と歴史性—デリダ『グラマトロジーについて』におけるルソーの「欲望」読解
- ④ 山岡 利矢子 デリダのマルクス論における隠喩・フェティシズム・憑在論について

《総会》 13時50分—14時50分

《シンポジウム》 15時—18時

- ・テーマ: 哲学者の講義録を読む
- ・司会: 西山 雄二 (東京都立大学)
- ・提題者: 藤田 尚志 (九州産業大学) ベルクソン  
酒井 麻依子 (筑波大学) メルロ＝ポンティ  
八幡 恵一 (関東学院大学) フーコー  
西川 耕平 (文京学院大学) ドゥルーズ  
西山 雄二 (東京都立大学) デリダ

\*ハイフレックス開催の会場設営準備の関係上、昼休み時間が例年よりも短くなっていますので、ご注意ください。

#### ☆関連イベントのご案内

##### ① 日仏哲学会提案型ワークショップ 「カトリーヌ・マラブーの哲学」

- ・日時: 2021年9月10日(金) 18時-20時30分
- ・開催方式: オンライン(要参加申込み)
- ・プログラム

第1部 カトリーヌ・マラブー講演(オンライン)

「抹消された快楽 クリトリスと思考 (Le Plaisir effacé. Le clitoris et la pensée)」

コメント:郷原佳以、中村彩

第2部 共同討論「カトリーヌ・マラブーの可塑性の哲学」

鶴飼哲、増田一夫、星野太、佐藤朋子、藤本一勇、宮崎裕助、小川歩人

司会:西山雄二

\* フランス語使用、翻訳配布、通訳有(渡名喜 庸哲、馬場 智一)

- ・主催: 脱構築研究会／後援:東京大学「共生のための国際哲学研究センター」(UTCP)／助成:東京都立大学
- ・参加申し込み

Zoomウェビナーを使用 要事前登録 ([https://zoom.us/webinar/register/WN\\_MnARZF3KSVaVuNi6qqWvPg](https://zoom.us/webinar/register/WN_MnARZF3KSVaVuNi6qqWvPg))

##### ② 日仏哲学会共催イベント 「デジャヴュと記憶——ベルクソンと現代記憶哲学」

- ・日時: 2021年9月12日(日)17時～18時半
- ・開催方式: オンライン(要参加申込み)
- ・提題 ドニ・ペラン氏(Denis Perrin)(グルノーブル大学教授 記憶の哲学センター)  
「デジャヴュについての新ベルクソン主義的見地」
- ・応答者 原健一、平井靖史
- ・主催: PBJ(Projet Bergson au Japon) +ベルクソン哲学研究会
- ・参加申し込み: 右のフォームよりご登録ください。 <https://forms.gle/XTWXe2MwRR6pVbzQ9>
- ・告知文

昨今、分析哲学において記憶をめぐる議論が急速に発展している。ベルクソンの記憶哲学は、現代の論争地図から見ても極めて独自の立場から注目を集めてはじめており、さらなる活発な交流が求められている。両者の可能な接点は複数あるが、ベルクソンのデジャヴュ論は、実証的な先行研究を踏まえたうえで彼の記憶論を特徴付ける明確な論点を有している点で、とくに興味深い。本ワークショップでは、現代の記憶哲学を牽引している「記憶の哲学センター」(フランス・グルノーブル)に所属し、なおかつベルクソン哲学に造詣の深いグルノーブル大学教授ドニ・ペラン氏から、ベルクソンのデジャヴュ論の新しい射程について提題してもらう。応答者は原健一(北海道大学)と平井靖史(福岡大学)。

★ 会員の皆様へのお知らせとお願い

1. 会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。また、今回もハイフレックス開催という異例の形態をとるため、受付で会費を直接納入していただける方が少なくなる恐れがあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます(末尾に記載の学会郵便振替口座から常時お振込みいただけます)。当学会の会計年度は9月開始となりますので、その点もご承知おき下さい。

(なお、3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、5年間の滞納が確認された方には「会報」の発送を停止させていただいています。)

2. メールアドレスご登録のお願い

メールアドレスをご登録いただいている皆様には、「会報」をメール添付でお送りしておりますが、まだ「会報」を郵便でお受け取りいただいている、メール送付に切り替えていただける方は、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会